

学習塾講師  
検定資格

取得者の

声

1級取得で  
生徒募集に大きな効果

——学習塾講師検定1級に向けての取り組みで、何か新しい気づきがありましたら教えてください。

塾講師として経験が長くなると、自分の授業を客観的に見る機会が少なくなりますが、「第三者からの評価」つまり他の人にはどう見えるのか。——そこで、学習塾講師検定に取り組むことにより、授業構成、説明のポイント、板書のつくり方、話し方など初心に戻り、「生徒にとつての授業」とは何かを考え直す良い機会となりました。何よりも評価項目・チェックシートが細かいので、これまでの自分に足りないものを把握し、それを改善する機会を得ることができました。また、実技試験だけでなく基本的なマナー確認試験もあるので、塾講師としての心構え・基本マナーの再確認ができ、さらにコンプライアンスへの意識も高まりました。

——学習塾講師検定1級を取得してどんなメリット、どんな変化がありましたか？

塾講師は、学校の教師のような資格がなくてもなれるのが一般的です。開成教育グループでは独自に「講師認定制度」があり、授業のプロとして認められた講師だけが教壇に立ちますが、社外の目を通して客観的に認められた学習塾講師1級は一つの「資格」です。1級を取得することで実際に塾生・保護者への影響力が大きかったです。例えば、この検定取得を塾のPRに活用し、生徒募集において大きな効果が上がっています。「1級IIプロ講師」ということで、安心してその塾に任せることができるという声をいただいたこともあります。

また、1級を取得すると同時に、1級に恥じないような講師であるべく大きな責任を感じるようになりました。つねに、自分に足りないものは何であるかを考え、その課題から目をそら

さず、真摯に向き合い、さらに上を目指したいと思うようになりました。

——学習塾講師のスキルを向上させたいと思う新人講師の皆さんにアドバイスをお願いします。

授業の主役は言うまでもなく「生徒」です。つねに生徒に目を向けることが大切です。そのため一番有効だと考えられるものは、授業内における生徒への「発問」だと私は考えています。発問することでつねに生徒に考えさせ、また、考えることで理解を深めることもできます。そして、生徒の理解度を知る手段でもあり、さらに生徒とのやりとりで活気も生まれるため、授業運営においてこの活発な発問は非常に有効な手段だと思います。ただ、発問以前に、話し方、リズム、表情、ふるまい、目線……これら授業の基本ルールを意識することが前提にあります。

「良い授業」を定義するのは難しいですが、良い授業の原点は「生徒中心」です。繰り返しになりますが、つねに生徒一人ひとりを意識した授業を心がけてください。ある単元において、先生側からすればこれまで何度も授業してきたところかもしれませんが、生徒にとってはその単元の授業はそのたった1回きりです。日々の授業外の業務に追われ、授業を業務化するこののないよう、授業一つひとつに全力投球！

### 塾の詳細

塾名	エール進学教室(株式会社成学社)
所在地	〒530-0015 大阪市北区中崎西3-1-2 開成梅田ビル3F
代表者	太田明弘
資格取得者	松本侑也
ホームページ	<a href="http://www.e-juku.info/">http://www.e-juku.info/</a>

(株)成学社が運営するエール進学教室

